

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/56who11.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例1例確認。広西チワン族自治区在住の10歳の女兒。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int.csr/don/2005_12_07/en/index.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例1例確認。広西チワン族自治区在住の10歳の女兒。
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/56who12.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。遼寧省の31歳の農家の女性。タイにおいてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。Nakhonnayok県在住の5歳の男児死亡。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int.csr/don/2005_12_09/en/index.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。遼寧省の31歳の農家の女性。タイにおいてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。Nakhonnayok県在住の5歳の男児死亡。
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/57who01.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。江西省在住35歳男性。患者の住居の近くにいたアヒルにおいてH5型ウイルスの存在を確認。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int.csr/don/2005_12_16/en/index.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。江西省在住35歳男性。患者の住居の近くにいたアヒルにおいてH5型ウイルスの存在を確認。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov/jp/disease/avian_influenza/57who03.html	中国福建省在住の41歳女性がH5N1亜型トリインフルエンザウイルスに感染。この症例は中国における7番目の検査確定症例であり、そのうち3例が死亡。これまでに湖南、安、広西、遼寧、江西、福建から症例を報告。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int/csr/don/2005_12_30/en/index.html	中国福建省在住の41歳女性がH5N1亜型トリインフルエンザウイルスに感染。この症例は中国における7番目の検査確定症例であり、そのうち3例が死亡。これまでに湖南、安、広西、遼寧、江西、福建から症例を報告。
2006/2/14	58060	ガンプロ株式会社	ヘパリン使用緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル	ヘパリンナトリウム	豚腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO (http://www.who.int/csr/don/2005_11_17/en/index.html)	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例2例確認。1例目は湖南省の9歳の少年、回復済み。2例目は安徽省の家禽農場で働いていた24歳の女性死亡。
											鳥インフルエンザ	IDSC (http://idsc.nih.gov/jp/disease/avian_influenza/56who6.html)	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例2例確認。1例目は湖南省の9歳の少年、回復済み。2例目は安徽省の家禽農場で働いていた24歳の女性死亡。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int/csr/don/2005_11_24/en/index.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例1例確認。安徽省の35歳の農家の女性死亡。
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov/jp/disease/avian_influenza/56who7.htm	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例1例確認。安徽省の35歳の農家の女性死亡。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int.csr/don/2005_11_29/en/index.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例2例確認。安徽省の24歳と35歳の農家の女性、ともに死亡。 インドネシアにおいてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例1例確認。Java州の16歳の少年。患者が入院する5日前に同胞2人が志望。インドネシアでは合計12例の感染症例のうち7例が死亡。
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/56who9.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例2例確認。安徽省の24歳と35歳の農家の女性、ともに死亡。 インドネシアにおいてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例1例確認。Java州の16歳の少年。患者が入院する5日前に同胞2人が志望。インドネシアでは合計12例の感染症例のうち7例が死亡。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int.csr/don/2005_12_07/en/index.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例1例確認。広西チワン族自治区在住の10歳の女子。
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/56whol1.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例1例確認。広西チワン族自治区在住の10歳の女子。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int.csr/don/2005_12_09/en/index.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。遼寧省の31歳の農家の女性。 タイにおいてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。Nakhonnayok県在住の5歳の男児死亡。
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/56whol2.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。遼寧省の31歳の農家の女性。 タイ：H5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。Nakhonnayok県在住の5歳の男子児死亡。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int/csr/don/2005_12_16/en/index.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。江西省在住35歳の男性。患者の住居近くに居たアヒルにおいてH5型ウイルスの存在を確認。
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/57who01.html	中国においてH5N1亜型トリインフルエンザのヒト感染例確認。江西省在住35歳の男性。患者の住居近くに居たアヒルにおいてH5型ウイルスの存在を確認。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int/csr/don/2005_12_30/en/index.html	中国において福建省在住の41歳女性がH5N1亜型トリインフルエンザに感染。この症例は中国における7番目の検査確定症例であり、そのうち3例が死亡。これまでに湖南、安、江西、遼寧、江西、福建から症例を報告。
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/57who03.html	福建省在住の41歳女性がH5N1亜型トリインフルエンザに感染。この症例は中国における7番目の検査確定症例であり、そのうち3例が死亡。これまでに湖南、安、江西、遼寧、江西、福建から症例を報告。
											鳥インフルエンザ	http://www.who.int/csr/don/2005_08_03/en/index.html	四川省でブタ連鎖球菌が集団発生。2005/8/3現在206例発生し、ヒト387例が死亡。18人の患者が渋滞。最初のヒト症例は6月の終わりに四川省資陽市において発生。報告されたほとんどの症例が成人男性の農夫。地元の臨床医によって報告された症状には、高熱、全身倦怠、嘔吐が含まれ、これに続いて髄膜炎、皮下出血、中毒性ショック、そして重症例には意識消失がある。潜伏期は短く、病状の発展は急速である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov.jp/disease/streptococcus_suis/050803suis.html	四川省でブタ連鎖球菌が集団発生。2005/8/3現在206例発生し、ヒト387例が死亡。18人の患者が渋滞。最初のヒト症例は6月の終わりに四川省資陽市において発生。報告されたほとんどの症例が成人男性の農夫。地元の臨床医によって報告された症状には、高熱、全身倦怠、嘔吐が含まれ、これに続いて髄膜炎、皮下出血、中毒性ショック、そして重症例には意識消失がある。潜伏期は短く、病状の発展は急速である。
											鳥インフルエンザ	OIE Disease information http://www.oie.int/eng/info/hebdo/AIS_54.HTM	四川省においてブタ647頭がStreptococcus suis 感染により死亡。感染症は2005年6月下旬に発生し、7月20日頃ピークに達し、急激に減少した。新規症例は8月6日以後発生していない。感染症はStreptococcus suis 2型が原因であった。
											鳥インフルエンザ	Weekly epidemiological record (12 AUGUST 2005, 80th YEAR) No. 32, 2005, 80, 269-276	中国衛生部は、ブタ連鎖球菌感染のブタ集団発生について、ヒトの感染を206例報告済み。うち38例でヒト死亡を確認。発生は全て四川省、多くのブタが飼育される地域。最初のヒト感染報告は6月終わり。以降、20例の原因不明の患者が入院していた。WHOへの報告で、感染症は発症か死んだブタとの密接な接触が主原因。ヒトにおける集団発生は特異的なもの。WHOは動向を見守る体制。
											鳥インフルエンザ	http://www.wpro.who.int/media_centre/news/news_20050816.htm	四川省でブタ連鎖球菌感染が集団発生。2005/8/16現在215例発生しヒト39例が死亡。発熱、全身倦怠、嘔吐、嘔気、多くの例でこれに引き続く髄膜炎、皮下出血、中毒性ショック、意識障害など、様々な臨床兆候を呈する。ほとんどすべての患者の職業は、地元の農業従事者や肉屋であり、役80%が男性で、病豚の屠殺や精肉の販売に携わっていた人々であった。当局のここまでの調査に基づくと、ヒト-ヒト感染の証拠は全くなく、また患者の治療に当たっている医療従事者にも感染はみられていない。しかし、今回の集団発生、特に死亡者が多く出たことの確認にさらに調査必要。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザ	http://idsc.nih.gov/jp/disease/streptococcus_suis/050816suis.html	四川省でブタ連鎖球菌感染が集団発生。2005/8/16現在215例発生しヒト39例が死亡。発熱、全身倦怠、嘔吐、嘔気、多くの例でこれに引き続く髄膜炎、皮下出血、中毒性ショック、意識障害など、様々な臨床兆候を呈する。ほとんどすべての患者の職業は、地元の農業従事者や肉屋であり、役80%が男性で、病豚の屠殺や精肉の販売に携わっていた人々であった。当局のここまでの調査に基づくと、ヒト-ヒト感染の証拠は全くなく、また患者の治療に当たっている医療従事者にも感染はみられていない。しかし、今回の集団発生、特に死亡者が多く出たことの確認にさらに調査必要。
2006/2/17	58061	三矢メディカル株式会社	人工心肺用血液回路	ヘパリン	豚小腸	イタリア	有効成分	無	無	無			
2006/3/1	58062	株式会社ジェイ・エム・エス	ヘパリン使用人工心肺用回路システム ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ ヘパリン使用チューブ接続用コネクタ ヘパリン使用単回使用人工心肺用熱交換器 ヘパリン使用体外式模型人工肺 ヘパリン使用心臓血管縫合補助具 ヘパリン使用単回使用遠心ポンプ ヘパリン使用人工心肺用回路用血液フィルタ	ヘパリン	ブタ腸管粘膜	スペイン	有効成分	有	無	無	ブタ連鎖球菌	OIE Disease Information (9 September 2005)	ブタ合計647例がStreptococcus suis感染症により死亡した。感染症は2005年6月下旬に発生し、7月20日頃ピークに到達し、急激に減少した。感染症はStreptococcus suis 2型が原因であった。検査の結果、分離株の病原性は、過去に分離された菌と大きな差はなく、また遺伝子的変化は見られなかった。
											HEV	鳥取県衛生環境研究所報 2005; 45:1-3	HEV感染状況を把握するために住民、ブタ、イノシシなどのHEV抗体保有調査を行った。住民のHEV抗体保有率は70歳代以上では16.7%、20歳以下では0%であった。ブタ血清における抗体保有率については地域により0~100%の偏差を示した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザ	Nature 2006; 439:248-9	トリインフルエンザ感染患者から分離したウイルス検体を解析していた研究者チームが、同ウイルスの遺伝子配列に3カ所の変異を確認した。変異のうち少なくとも2カ所は、鳥インフルエンザがヒトに感染しやすいよう働く可能性が高いとしている。
											インフルエンザ	Clinical Infectious Diseases 2006; 42:14-20	豚に曝露された複数のヒト集団について過去の豚・インフルエンザウイルス感染のエビデンスを検討した。豚への職業的曝露により、労働者の豚・インフルエンザウイルス感染のリスクが大幅に増大する。
2006/3/9	58063	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社	ヘパリン使用サーモダイリューション用カテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	米国、中国及びカナダ	有効成分	有	無	無	寄生虫感染	科学 2005; 75:1352-1355	1998年から99年にかけて、激しい呼吸器症状や脳炎等を示す265人の患者と107人の死者(致死率40%)を出したニパウイルス感染症は、マレーシア養豚地帯で発生した。研究の結果、自然宿主は果実や花の蜜を食べるオオコウモリであり、オオコウモリからヒトへの直接感染例は認められなかったことから、ブタを介してヒトに感染する重篤な感染症と結論づけられた。ウイルスがどのように動物種を超えて感染するのか、その機構の解明は人獣共通感染症対策の基盤として重要であるため、ニパウイルスが細胞に侵入する際に利用する受容体の発見と、遺伝子工学によるウイルス粒子の再構築法の開発について紹介した。1) ウイルスはEphrin-B2を介して侵入していることが証明された。2) ニパウイルスゲノムcDNAから感染性ウイルスを作製する技術開発と動物実験系の確立を行った。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											寄生虫感染	Journal of Virology 2005; 79:10821-10825	ヒト感染症に関連するベトナムの鳥インフルエンザウイルスH5N1型が豚に伝播したかどうかを判定するため、2004年にベトナム国内の豚がインフルエンザウイルスH5N1型に曝露した血清学的エビデンスを調査した。検証した豚の血清3,175サンプルのうち8サンプル(0.25%)が、2004年にウイルス中和試験およびウエスタンブロット法により分離した鳥インフルエンザウイルスH5N1型に対し陽性を示した。2004年のアジアH5N1型ウイルスの、豚における複製および伝播性を実験的に研究した結果、検証した全ウイルスが豚の気道内で複製したが、豚同士の接触ではウイルスは伝播しなかった。鼻スワブから得られたウイルスの力価は2日目にピークに達し、検証した豚4頭のうち2頭の肝臓で低い力価を検出した。これらの所見から、豚は高致死性アジアH5N1型ウイルスに感染しうるが、このウイルスは実験の条件下では豚間で容易に伝播しないことが示唆された。
											サルモネラ	Emerging Infectious Diseases 2005;11:694-698	スペインにおけるSalmonella entericaのDerby血清型の遺伝的多様性について、パルスフィールドゲル電気泳動法(PFGE)により検討した。確認された24種類のPFGEプロファイルの中で、主要クローンは、ヒト由来の19%の株、食物由来の52%の株、そして豚由来の62%の株で検出された。このクローン(クローン1)は豚肉製品から分離されたものであり、豚がその汚染源であることを示唆している。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2006/3/10	58064	テルモ株式会社	滅菌済み心臓用チューブ及びカテーテル 模型人工肺 人工心肺装置の付属品(心内血吸引貯血槽) 人工心肺装置の付属品(静脈貯血槽) 人工心肺装置の付属品(人工心肺用貯血槽) 人工心肺装置の付属品(人工心肺用気泡除去器) 人工心肺装置の付属品(血液ろ過器) その他の人工肺(ディスプレイザブル人工心肺システム) 人工心肺用血液回路 人工心肺用ポンプ 滅菌済み血管診断用チューブ及びカテーテル 人工心肺装置の付属品 その他の血液回路(体外循環用血液ガス測定用セル)	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国、中国	有効成分	無	無	無			
2006/3/14	58065	株式会社ウベ循環研	ヘパリン使用体内植込み用カテーテル	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	Emerging Infectious Diseases 2005; 11:1664-1672	2004年1月にH5N1亜類型の高度病原性トリインフルエンザウイルスがタイで家畜と人間で最初に確認された。2005年も進行中である。
											細菌感染	Pediatr Infect Dis 2005; 12:1099-1103	2001年8月、R. picketti菌血症の集団発生がカルフォルニアの病院のNICUで起こった。発生の最有望な原因は、汚染されたヘパリンフラッシュであった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											細菌感染	Clin Microbiol Infect 2006; 12:69-74	ノロウイルス感染は、短い持続期間の自己限定の病気とされていたが、大学病院で院内感染発生した。原因となる因子は、新しい異なるグリムズビー Girmsby・ウイルスであった。
											感染	J Hosp Infect 2006; 30:1-6	廃棄物に存在する微生物からの感染、特に血液媒介ウイルスは最も重大脅威である。臨床廃棄物の管理の簡素化を助長する有力なコスト推進要因をつくることによって、ヨーロッパの危険廃棄物指針に基づく英国法律は、CDCの世界共通/標準予防措置と衝突する。
											細菌感染	J Food Prot 2006 ; 69:22-6	Campylobacter Spp.の抗菌性のバクテリアを決定するために豚、牛肉とチキンからの分離を調べた。豚由来分離株は、テストされた10種の抗菌物質のうち7剤へ最も大きな抵抗性を持っていた。この結果は、いろいろな抗菌剤、とりわけシプロフロキサシンと、エリスロマイシンへのCampylobacterの抗菌物質抵抗性の存在を確かめた。
2006/3/14	58066	エドワーズライフサイエンス株式会社	ヘパリン使用静脈用カテーテルイントロデューサ ヘパリン使用サーモダイリューション用カテーテル ヘパリン使用バルーン付ベアリング向け循環器用カテーテル ヘパリン使用中心静脈用カテーテルイントロデューサキット ヘパリン使用体外式ペースメーカー用心臓電極 ヘパリン使用単回使用遠心ポンプ ヘパリン使用大動脈カニューレ ヘパリン使用人工心肺用回路 ヘパリン使用人工心肺回路用血液フィルタ ヘパリン使用人工心肺用貯血槽	ヘパリンナトリウム	豚小腸粘膜	原本参照	有効成分	有	無	無	ブタ連鎖球菌	WHO/WPRO News, 16 August 2005	最近報告された四川省でのブタ連鎖球菌の集団発生の調査の終了に向けて、中国衛生部はこの集団発生に関して、WHOと更に細部に渡る情報共有を行った。ブタ連鎖球菌の国際的専門家のグループがWHOにより召集され、中国衛生部により提供された情報に基づき検討し、今回のヒトでの集団発生がブタ連鎖球菌を病原体とするものとして矛盾がないとした。